

科目名 Course Name	介護過程Ⅱ Process Planning for Care Work Ⅱ				ナンバリング No.	J2-010	
年次	1 年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	吉田 志保						
連絡方法	C-Learning で対応。または福祉棟 3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修／選択	選択(介護福祉士養成課程必修)						
関連 DP	DP3, DP5						
授業の概要と 到達目標	【授業全体の内容の概要】 在宅で生活している要介護高齢者の実態を各種資料から把握したうえで、要介護高齢者の生活状況を理解し、生活ニーズを捉える。そして、介護過程Ⅰをもとに既習の知識・技術を統合し、事例を用いて在宅介護における介護過程の展開方法を学ぶ。 【到達目標】 ①在宅で生活している要介護高齢者の生活状況を説明できるようにする。 ②在宅生活に必要な社会資源を列挙できるようにする。 ③情報を整理し生活ニーズを捉え、明記できるようにする。 ④利用者の望む生活を重視した介護過程を展開できるようにする。						
授業の方法	演習科目であるが講義も併用し、視聴覚教材や事例を用いる。事例検討では、個人ワークをもとにグループワークによりまとめ、発表会をおこなう。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	在宅で生活している要介護高齢者の生活ニーズを捉えることができる。					
	L04	個別性のある介護計画を立案することができる。					
課題に対する フィードバック	レポートはコメント記入・評価後学生に返却、事例検討レポートは添削・評価後学生に返却、平常試験は試験後に模範解答を示す。						
教科書／ 参考図書	教科書:最新・介護福祉士養成講座 第9巻「介護過程」中央法規出版 適宜、レジュメ、プリントを配布する。						
履修上の留意点 やルール等	●演習科目であり、学生の個人ワークやグループ演習が中心である。積極的に参加し、学びを共有してほしい。机上に携帯電話や、飲み物など教材以外のものを置くことは禁止する。やむを得ず欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。 ●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合				L01	L02
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	テキストや資料を持参し自主的にメモしている。 個人ワークを完成させ、グループワークに取り組んでいる。			10			
レポート／作品	①視聴後の学び S:指示された項目について、自己の考えを適切に記述している。(10%) ②事例検討 S:情報から計画までを適切に記述している。(20%)			10	20		
発表							
小テスト							
試験	在宅で生活する要介護高齢者・在宅における介護の視点・在宅介護と施設介護の違い・生活領域の拡大を図るための視点・社会資源に関する理解ができています。				60		
その他							
合 計				20	80		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス 在宅での介護過程の展開について説明する。
	事前・事後学習	在宅サービスでの介護過程の展開には、どのようなサービスがあるのかを調べる。
2	授業内容	在宅で生活する要介護高齢者の理解① 各種資料からの理解、要介護状態の理解
	事前・事後学習	介護保険に関する記事を切り抜くかプリントアウトする。
3	授業内容	在宅で生活する要介護高齢者の理解② 要介護高齢者および介護の特性
	事前・事後学習	在宅で生活する、要介護高齢者の特徴について事前に調べる。
4	授業内容	在宅における介護の視点① 在宅介護と施設介護との同違点【グループワーク】
	事前・事後学習	施設介護の良さ、在宅介護の良さを5点ずつ列挙する。
5	授業内容	在宅における介護の視点② 地域での在宅福祉サービスについて、各自で調べてまとめる。
	事前・事後学習	自身の住んでいる市町村の、訪問介護事業所の数を調べる。
6	授業内容	在宅における介護の視点③【グループワーク】 地域の在宅福祉サービスについてマッピングを行う
	事前・事後学習	自身の住んでいる市町村の、居宅介護支援事業所の数を調べる。
7	授業内容	高齢者が生きてきた時代と歴史を知る「ライフヒストリー①」
	事前・事後学習	高齢者が生きてきた時代の出来事について調べる。（子ども時代）
8	授業内容	高齢者が生きてきた時代と歴史を知る「ライフヒストリー②」
	事前・事後学習	高齢者が生きてきた時代の出来事について調べる。（青年期）
9	授業内容	要介護者と在宅生活①【視聴覚教材「折り梅」前半 視聴】 在宅で生活することの意義（価値・重要性）を考える
	事前・事後学習	ビデオ視聴後のポイントをまとめる。
10	授業内容	要介護者と在宅生活②【視聴覚教材「折り梅」後半 視聴】 在宅で介護することの意義（価値・重要性）を発表する（レポート① 提出：第11回目）
	事前・事後学習	ビデオ視聴後のレポートを作成する。
11	授業内容	介護過程の展開の理解 事例検討① 事例による介護過程の展開（アセスメント） 【個人ワーク】
	事前・事後学習	事例を読み、アセスメントの内容を記入する。
12	授業内容	介護過程の展開の理解 事例検討② 事例による介護過程の展開（計画立案） 【個人ワーク】
	事前・事後学習	事例をもとに、アセスメント～介護計画の立案までを記入する。
13	授業内容	介護過程の展開の理解 事例検討③ 事例による介護過程の展開【グループワーク】
	事前・事後学習	事例をもとに、介護計画の立案までを完成させる。他学生の展開内容を聞き、自分が不十分だった点を見直す。
14	授業内容	介護過程の展開の理解 事例検討④ 事例による介護過程の展開【発表】 （レポート③ 提出：発表後）
	事前・事後学習	発表原稿を作る。これまでの学習内容を見直し、介護過程の展開方法を確認する。
15	授業内容	在宅での介護過程の展開についてのまとめ
	事前・事後学習	在宅での介護過程の展開事例を調べ、読む。